

羽幌町

都市計画マスタープラン

概要版



羽 幌 町

都市づくりの理念と基本目標

都市づくりの基本理念

人も自然も元気に生きる交流と魅力にあふれるまち

少子高齢化や町の財政など、様々な問題を抱える今こそ、人と人とのふれあいを大切に羽幌町の魅力を引き出すことのできるような都市づくりを町民の創意工夫によって進めます。

都市づくりの基本目標

1

交流と賑わいのある都市をつくりま



ふれあいの場所を大切に街なかの魅力をつくり、賑わいや活性化に結びつけていきます。そして、子どもからお年寄りまで、人が集まりたくなる都市づくりを進めます。

2

安全で快適に暮らせる都市をつくりま



災害などに対する安全性を確保して安心して暮らすことのできる都市づくり、町民の価値観の変化に対応しながら快適に暮らすことのできる都市づくりを目指します。

3

自然を守り生かす優しい都市をつくりま



人が暮らしていることで生じる環境負荷を軽減し、人と生き物すべてに優しい都市づくりを目指します。また、自然にふれあえる場所づくりを進めます。

4

羽幌らしい特色のある都市をつくりま



他の町にはない羽幌町の豊富な資源や地理的な特徴を生かし、町の活性化のために、羽幌らしい特色のある都市づくりを目指します。

5

町民みんなで創意工夫の都市をつくりま



町の財政を考えて今あるものを有効に活用し、本当に必要なものを見極めながら、町民のみなさんの手による都市づくりを進めていきます。

羽幌町都市計画マスタープランは、都市計画区域を対象区域として、20年後を目標とする都市づくりの計画です。これからは、マスタープランをもとに、町民の皆さんのご理解とご協力を得ながら、羽幌町の都市づくりを進めていきます。

将来都市構造

羽幌町の特徴を生かしつつ、魅力ある都市づくりを進めていきます。

これまでの都市構造

都市づくりの方針へとつながる明確な都市構造のビジョンがなかった。

市街地が1つにまとまったコンパクトなまちが既に形成されている。

暮盤の目状の道路網による整った都市が形成されている。

市街地周辺が豊かな自然に囲まれている。



これからの都市構造

軸、拠点、ゾーンによるわかりやすい都市の骨格づくり。

コンパクトでまとまりのあるまちを維持する。

都市形状を生かし、交流や賑わいが生まれるまちを目指す。

自然環境の保全を図る。

2つの軸

広域連携と交流の軸 広域連携と生活・文化・産業が行きかう交流の軸として、都市の骨格を形成し市街地の展開を進めます。

ふれあいの軸 ふれあいの軸として、町民や観光客の移動を促進し町の活性化を図ります。

3つの拠点

賑わいと交流の拠点 町の顔として、賑わいの創出と魅力ある街並みの形成を図ります。

海の交流と産業の拠点 町民や観光客が交流を促進し、産業の活性化を図るための場づくりを進めます。

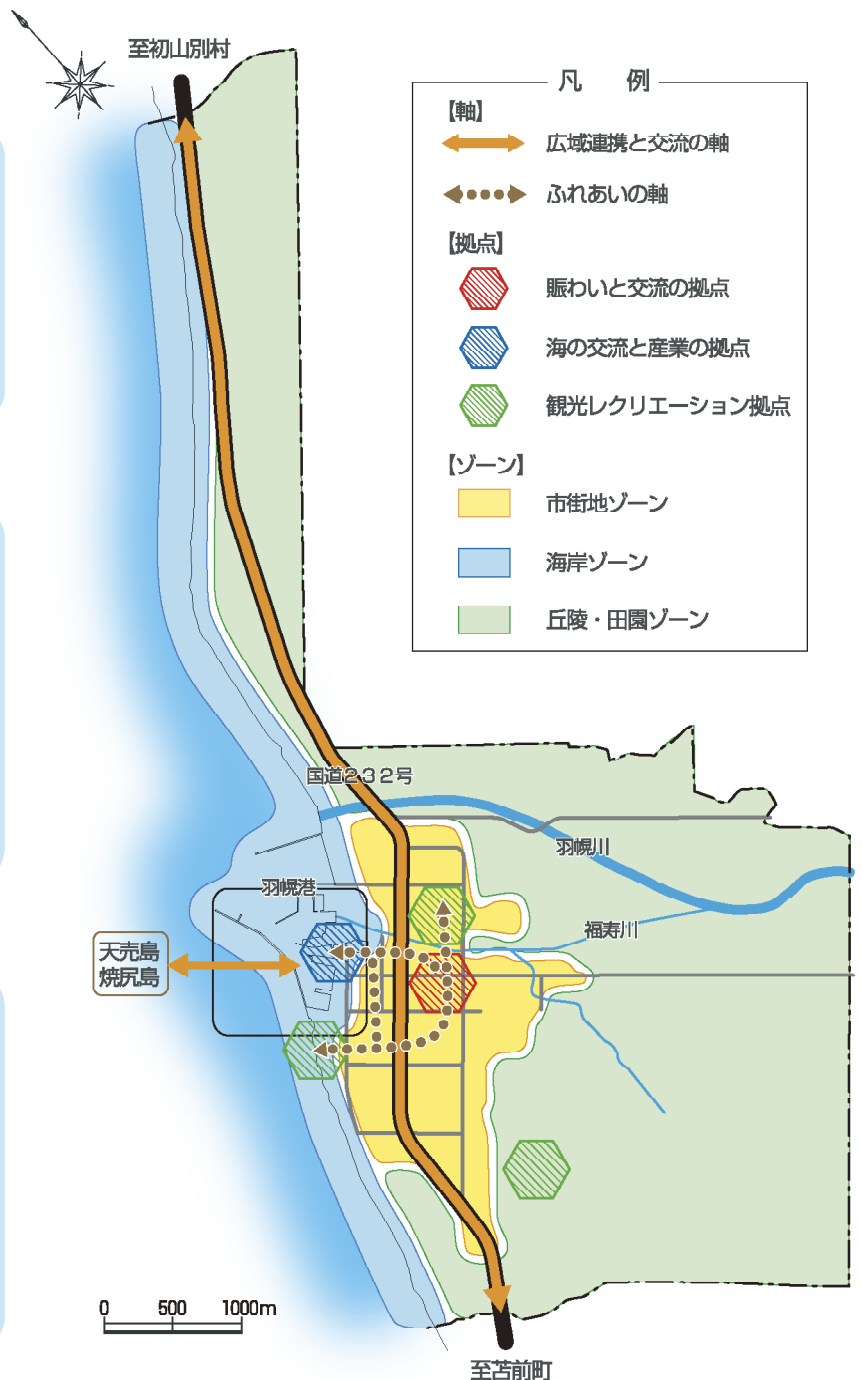
観光レクリエーション拠点 観光とレクリエーション機能を高めます。

3つのゾーン

市街地ゾーン 快適で質の高い生活空間の形成を図ります。

海岸ゾーン 海との関わりの中で羽幌町の特徴を生かした観光・レクリエーション・交流・産業の促進を図ります。

丘陵・田園ゾーン 丘陵樹林地や農地の環境保全を図ります。



交通体系の基本方針

～安全で安心できる道づくり、歩くことにも目を向けた道づくりを進めます～



水と緑の基本方針

～花や木などの緑を活用した潤いのある都市空間を形成します～



都市防災の基本方針

～災害に強いまちを目指します～

①災害に強い都市基盤の整備

- 公共公益施設の耐震診断、耐震改修
- 河川堤防、海岸や護岸施設などの災害対策
- 河川や下水道の排水機能の向上

②防災拠点機能の強化

- 防災拠点としての中央公民館や学校施設等の充実
- 高齢者や障害者に配慮した防災拠点の施設整備

③安全な避難施設の整備

- 緊急車両の通行や避難のための生活道路の改善
- 防災に役立つ公園・緑地の整備
- 避難所や避難場所の周知

その他の都市施設の基本方針

～将来を見据えた施設の整備を進めます～

①計画的な供給・処理施設の整備

- 上下水道施設の整備、更新

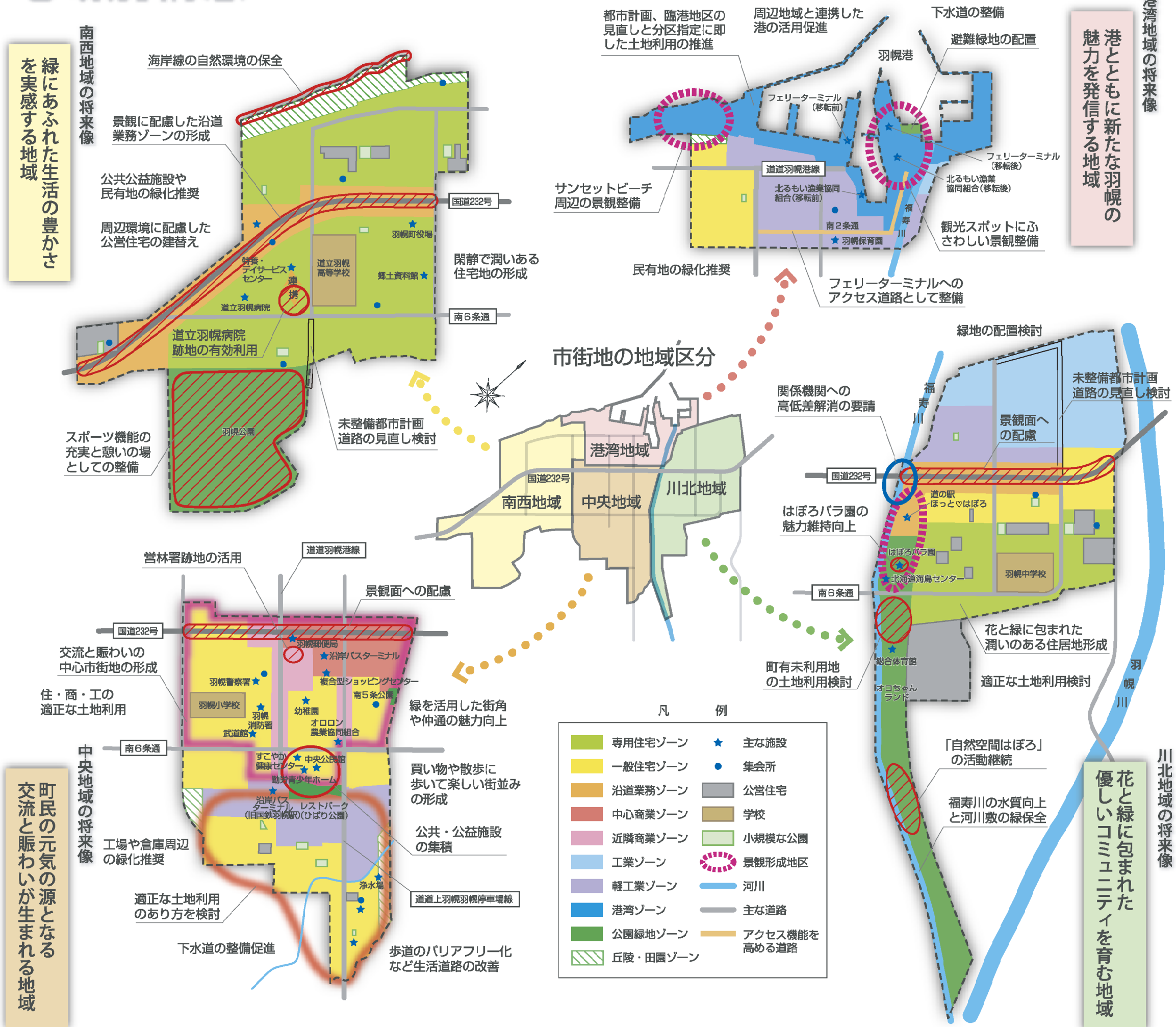
②建替えに向けた施設の適正な配置

- 羽幌保育園、羽幌小学校などの建替え配置検討
- 羽幌葬斎場の建替え検討
- 公営住宅ストック活用計画などの計画に即した公営住宅の建替えや改修などの整備
- バランスを考えた効率的な施設の配置

③施設の充実に向けた整備と維持管理

- 高齢化に対応した公共公益施設のバリアフリー化
- 既存の公共公益施設の見直し、施設の充実と維持管理

地域別構想



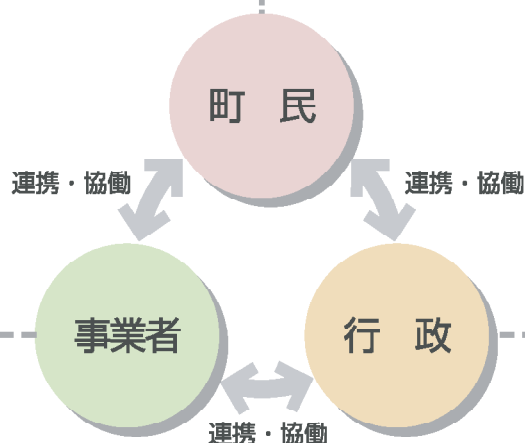
羽幌町都市計画マスタープランは「策定のための町民アンケート調査」や「住民委員会」などにより、町民の皆さんの意見をもとに策定を行いました。

実現にむけた推進方策

推進の基本的な考え方

町民、事業者、行政が将来都市像を共有し、実現に向けて互いに連携しながら協働で進めていきます。

町民は自らができることを考えて主体的に行動します。



事業者は町民や行政と協力して調和のとれたまちづくりを行います。

行政は具体的な事業を推進し町民・事業者の活動を支援します。

実現に向けた推進方策

①推進のための体制づくり

- 行政内各課の連携、国や北海道などの関係機関や周辺市町村との連携
- 具体的な都市計画の決定や事業における町民意見の反映
- ホームページや広報による情報の公表、町民参加意識の啓発

②都市計画マスタープランの運用と進行管理

- 既定の都市計画の変更や見直しの検討
- 本マスタープランの内容の施策化、事業化
- 上位関連計画の更新に合わせた本マスタープランの見直し
- 時代の変化に柔軟に対応した見直しと進行管理



羽幌町都市計画マスタープラン

発行者：羽 幌 町

発 行：平成20年6月

Tel : 0164-62-1211 Fax : 0164-62-1219

e-mail : seisaku@town.haboro.hokkaido.jp